

# 第一回報告書：留学に至る経緯

2016年度奨学生 澁谷陽子

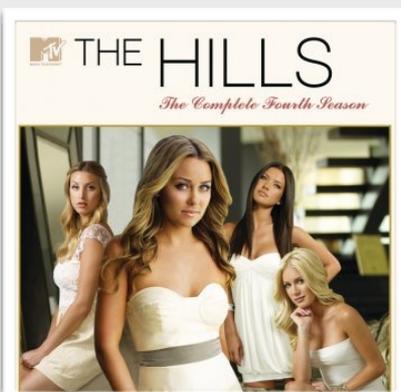
## 2015年 3月～6月

春休み中にTOEFLとGREのGeneral Testの受験。5,6月は少しのんびりしてしまい、この時期にもっと修論を進めておくべきだったと後悔。

## 2015年 7～8月

留学のための奨学金に応募。

サンフランシスコを旅行し、バークレーとスタンフォードのキャンパスに遊びに行く。高校生くらいから”The Hills”などを見て憧れていた西海岸、実際に行ってみるとやっぱり穏やかで素敵な雰囲気。次に住むならここがいいな、と思い出願校を西海岸に集中させることを決意。



(写真) LAが舞台の“The Hills”。



(写真) Berkeleyの近くの素敵なカフェテラス。外で勉強したくなります。

初めまして、今夏からスタンフォード大学に留学する澁谷陽子と申します。左枠内に留学準備について書かせていただきましたが、私の留学準備は大学院留学ブログなどにあるようないたって標準的なスケジュールであったように思います。唯一少し特殊だったと思うのは、出願校を選ぶ際に学校付近の居住環境を特に重視していたところです。もちろん、教授陣や生徒の質、自分の興味と合っているかといった項目は最優先事項ですが、せっかく5年間も暮らすのなら毎日幸せに暮らせる都市がいいなと思い、映画やアメリカ生活ブログを手当たり次第に読んでアメリカの都市を調べました。「プラダを着た悪魔」や”The City”を見返してニューヨークに憧れたり、パリの大学の博士課程に進学された先輩の生活に憧れたり右往左往しましたが、最終的には、サンフランシスコって素敵かもしれない！

## 2015年 11~12月

留学奨学金の面接。指導教員の方々に推薦状をお願いするとともに、必要書類を集める（英文成績証明書や在籍証明書など）。出願ギリギリで修論が完成し、無事出願終了。

## 2016年 2月

出願した各学校からの可否通知。全ての学校がウェブサイトかメールによる通知、インタビューは無し。西海岸の大学からは比較的遅めの連絡。

## 2016年 3月

合格をいただいた学校のうち、スタンフォードとバークレーのフライアウトに参加。両校とも博士課程の学生がのびのび勉強しているイメージ。思っていたよりも都会的な街並み。良い天気のおかげ、先生も生徒もとっても幸せそうに見える。

## 2016年 4月~

進学先をスタンフォード大学に決め、留学準備を開始。銀行口座、Visa、予防接種や歯医者など。

という結論に至り、夏休みに実際に見学に行ってみて志望校をサンフランシスコ付近にある大学に絞りました。出願校を選ぶ際に何を重視するかは、人それぞれ違うと思いますが、私のように住環境を重視する方々も少なからずいらっしゃると思います。次回以降の留学報告書では、そのような方々の出願先選択の参考にしていただけるような、博士課程の学生目線で見たサンフランシスコ情報をお届けできたらいいなと思っています。

最後に、留学を実現させてくださった船井奨学金の関係者の方々に礼を申し上げます。奨学金の付与だけでなく、交流会や壮行会を開いて普段から優しくしてください、いつもとても嬉しいです。ありがとうございます。これからは研究活動に励みつつ、報告書を通じて将来の応募者の方々に有益な情報を提供出来るように頑張ります。これからどうぞ宜しくお願い致します。



(写真) 坂の中腹にあるBongo Burgerからの眺め。